

# 東海鉄道OB会報

第8号

平成19年1月



名古屋機関区支部 加藤銅一

## 目次

- 新しい年を迎えるにあたり 堀内 章 : 2  
東海鉄道OB会会長  
新しい年を迎えるにあたり 松本正之 : 3  
東海旅客鉄道株式会社代表取締役社長  
各地方本部長新年挨拶  
東海東京地方本部長 川崎孝夫 : 4  
静岡地方本部長 小尾嘉俊 : 4  
名古屋地方本部長 平井義朗 : 4  
東海大阪地方本部長 片山好郎 : 4  
法人会員新年挨拶 : 5  
三島支部創立二十五周年記念行事  
ふじかわ号利用による下部温泉日帰りの旅  
—五十八名の参加を得て盛会裡に開催—  
三島支部長 大川一雄 : 7  
気持ちよく利用を願う 千種駅前を美しく  
千種名東支部事務局 伊藤典男 : 7  
第九十回歩む会「中山道垂井宿と南宮大社」を終えて  
伊勢支部事務局 上地武夫 : 7  
二〇〇六年秋 さわかやウオーキング  
「歩こみやあ名古屋の文化のみち」のコース案内に参加して  
千種名東・守山・名城東北支部連合 : 8  
名古屋地方本部 第一回ゴルフ大会開催  
名古屋地方本部事務局次長 水谷淳三 : 9  
増収増力活動の一環としての「小豆島の旅」の実施  
名古屋地方本部 事務局長 加藤寿美夫 : 10  
「第三回東海大阪地方本部ゴルフ大会の開催」  
東海大阪地方本部施設支部事務局 辰巳俊彦 : 10  
平成十八年秋の生存者叙勲受章者 : 10  
JR東海トピックス : 11  
グループインフォメーション : 14  
読者のひろば : 16  
駅探訪／東海鉄道OB会写真真館／編集後記 : 20

# 新しい年を迎えるにあたり



東海鉄道OB会会長  
堀内 章

会員の皆様、あけましておめでとうございます。

ご家族の皆様ともどもお健やかに平成十九年の新しい年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

東海鉄道OB会が発足して早いもので二回目の新年を迎えましたが、この間新しい組織の基礎づくりには、JR東海をはじめグループ各社の強力な支援を

受け、一方、会員の皆様の理解と協力を得ながら、自主自立という基本路線の確立をめざし今日まで進めてまいりました。とは

言え、二年足らずでは一人歩きも十分できない状況かも知れませんが、新しい年を迎え、われわれ一同は従来にも増して、より一層の自主自立をめざし、会の

基本方針である基礎確立と組織の充実、会員相互の親睦と活動の活性化、会員増強運動の積極推進に一丸となって取り組み、加えて、組織の機関誌である東海鉄道OB会報の内容充実を図っていかねばなりません。

他方、われわれの組織の活動に際し、物心両面に亘りご尽力、ご協力をいただいているJR東海をはじめグループ各社に対しましては、より一層強力な協力

活動を本年も推進していかねばなりません。

この内・外両面の重点項目をわたくしをはじめ会員の皆様は十分認識し、東海鉄道OB会が置かれている現状をつぶさに把握していただきたいと思っております。

われわれは、東海鉄道OB会を自主自立した組織にするためには掛け声だけではなく、一人立ちした安定したものになければなりません。

会員の皆様の理解と協力をいただきながら、一人立ちのできる組織にする努力を積み重ねてまいりますので、よろしくお願いいいたし、新しい年を迎えての挨拶といたします。

## 新年を迎えるにあたり



東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長  
松本 正之

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、当社の人、組織の総合力を結集して努力した結果、安全面、経営面など業務に全般に亘り着実な実績をあげることができました。

東海道新幹線については、3月のダイヤ改正で東京・広島・博多間を直通運転する「のぞみ」を増やすなどさらに利便性を高めたほか、平成11年より準備を進めてきた新ATCの使用を開始し輸送基盤の一層の強化を図りました。加えて、7月にはエ

クスプレス予約のご利用区間を東海道・山陽新幹線全線に拡大するなどサービスの向上に努めました。

在来線については、新製313系車両の新製・投入を進め、10月のダイヤ改正で名古屋地区の東海道線の快速列車を増発するなど輸送体系を整備し、11月には名古屋地区において初めてICカード乗車券「TOICA」を導入しました。

また4月の自己株式の取得の結果、政府が保有していた当社株式の売却が完了しました。さらに7月には、高度先進医療を

提供する病院として最先端医療機器を備えた「名古屋セントラル病院」を開院しました。

本年につきましても、引き続き安全・安定輸送の確保を最優先に、グループ全般にわたりより質の高いサービスの提供に努めてまいります。

具体的には、東海道新幹線について、新形式車両N700系の夏の営業運転開始に向け万全を期すとともに、輸送基盤をより一層強化するため電源設備の増強や新大阪駅におけるホームの増設などの改良工事を進めてまいります。

また、在来線では、新製車両の投入を引き続き進めるとともに、線区及びエリアの特性に応じた輸送体系の最適化に取り組んでまいります。

営業面では、エクスプレス予約のIC化、静岡地区での「TOICA」の導入に向け、着実に準備を進めてまいります。また、京都や奈良、伊勢、山陽、東京など各方面への観光キャンペーンを強化し、新たな需要の創出に積極的に取り組んでまいります。

超電導リニアについては、山梨リニア実験線の先行区間において、更なる長期耐久性の検証を行うとともに

に一層のコストダウンなどを目指した走行試験を行ってまいります。さらに、実用化の技術の確立を目指し、

基盤技術が確立した設備を実用レベルの仕様に変更するとともに、平成25年度末の走行試験開始に向けて、一般区間までの延伸を行ってまいります。また、その他の研究開発についても、高速鉄道に関するテーマを中心に、長期的視点に立った基礎的研究から現場に密着した技術的課題まで幅広い分野で着実に取り組み、一つひとつ実用化を図ってまいります。

さらに、関連事業については、より一層グループ会社間の連携を強化し、企業グループとしての発展を目指すほか、JR東海新横浜ビル（仮称）計画や、「ナゴヤセントラルガーデン」、「セントラルガーデン・レジデンス徳川明倫町」をはじめ社宅跡地の開発計画などを着実に推進してまいります。

本年も、東海鉄道OB会の皆様のご健勝・ご活躍をお祈りするとともに、皆様のご期待に応えられますよう一層の努力を続けてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 各地方本部長新年挨拶

恭賀新年……

丁亥の年を迎えて

東海鉄道OB会  
東海東京地方本部長 川崎孝夫

丁亥（ひのとい）の年を迎え、  
恭しく初春をお祝い申し上げます。

今年の干支は、陰陽五行讖緯  
説によると、「陰気極まりない年」  
だといわれています。また、「亥」  
には、「閉ざす・閉じる」の意味  
を表しています。

しかし、悪いことばかりでは  
なく、「大漢和辞典」を調べてみ  
たら、「亥」の項には、陰気極まっ  
て陽気のきざすこと」というの  
がありました。

単なる干支の組み合わせによ  
る循環的予言説を、決して盲目  
的に受容するわけではありませ  
んが、何とか理屈を見出し、時に  
閉塞感の漂う現代社会を、少し  
でも明るくしたいものです。

本年も会員の皆様にとつて、  
良き年となりますよう心からお  
祈り申し上げます。



年頭所感

東海鉄道OB会  
静岡地方本部長 小尾嘉俊

明けましておめでとござい  
ます。

さて、東海鉄道OB会は平成  
十七年四月一日発足から二年目  
の新年を迎えましたが、JR東  
海をはじめ各グループ会社のご  
支援により順調に歩んでいます。  
特にOB会報につきましても、  
当初の心配をよそに会員からの  
投稿も多く独自のカラーを出し  
つつ読み易い情報源となつて来  
ました。

静岡地方本部の各支部は、支  
部活動を一層充実させ魅力ある  
OB会としてJR退職者が一人  
でも多く加入されるよう務めな  
くてはなりません。また、高齢  
を事由に退会される方を少なく  
する工夫も各支部でなされてい  
ますが、地方本部も施策のお手  
伝をして参りたいと思います。

新年に当たりOB会の繁栄を  
祈念しご挨拶  
といたします。



更に一歩前進する  
新年を迎えて

東海鉄道OB会  
名古屋地方本部長 平井義朗

謹んで新年のお慶びを申し上  
げます。

新しい組織となつて早や二度  
目の新年を迎え、新組織も問も  
なく二年、われわれは何時まで  
も甘えの気持ちでいることは許  
されません。常々皆様方に、強  
力な後押しをしていただくJR  
東海やグループ各社に対する協  
力活動の推進、組織強化のため  
の会員増強運動の実施、会報の  
充実等を申し上げてきましたが、  
本年は特に会員増強運動と支部  
の活性化を強力に推し進めてい  
きますから、皆様のご理解とご  
協力を是非お願いいたします。

東海鉄道OB会という自主自  
立した組織の傘下の名古屋地方  
本部を、より発展させ安定化を  
図り立派な組織にしなければな  
りません。私が先頭に立つて進む  
ことを皆様にお知らせし、新しい  
年を迎えて  
の挨拶とい  
たします。

年を迎えて  
の挨拶とい  
たします。



発足二年目の  
新年を迎えて

東海鉄道OB会  
東海大阪地方本部長 片山好郎

新年明けましておめでとうございます。  
会員の皆様には、ご家族ともども希望に  
満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶  
び申しあげます。

東海鉄道OB会が発足して二回目の新  
年を迎えました。東海大阪地方本部発足以  
来「会員の拡大運動」と「レクリエーショ  
ン活動の充実」を二大活動指針に会員の総  
意の基に積極的に取組んでまいりました。

以前は、会員数も横ばいで、活動も年一  
回の総会を開催するのが精一杯でしたが、  
現在は、会員数も発足時より五十七名の仲  
間が増えて一九三名に拡大しました。一方、  
レクリエーション活動も、ゴルフ大会は昨  
年の十月に三回目を開催し、春に次回を開  
催する予定であります。また、菊作り講習  
会、ハイキングを開催するなどかなり充実  
してきました。

これは会員のOB会に対する熱意と積  
極的な参加の意思の現われであります。  
今年も引き続き、会員の皆様のご理解  
とご協力を頂き二大活動指針の更なる拡  
大と充実を目指  
しますのでご支  
援のほどよろし  
くお願いいたし  
ます。



<p>あけまして おめでとうございます (順不同)</p> 	<p>ジェイアール東海バス(株) 代表取締役社長 佐野 守彦</p>	<p>ファーストエアートランスポート(株) 代表取締役社長 竹下 正純</p>	<p>ジェイアール東海物流(株) 代表取締役社長 川榮 靖英</p>	<p>(株)東海交通事業 代表取締役社長 粕淵 輝雄</p>	<p>(株)ジェイアール東海高島屋 代表取締役社長 八尾 彰一</p>	<p>(株)ジェイアール東海パッセンジャーズ 代表取締役社長 建守 猛</p>
<p>東海キヨスク(株) 代表取締役社長 齋藤 蒼</p>	<p>ジェイアール東海フードサービス(株) 代表取締役社長 加藤 公一</p>	<p>ジェイアール東海商事(株) 代表取締役社長 江藤 文人</p>	<p>ジェイアールセントラルビル(株) 代表取締役社長 天谷 昭裕</p>	<p>ジェイアール東海不動産(株) 代表取締役社長 志田 威</p>	<p>豊橋ステーションビル(株) 代表取締役社長 荒川 勉</p>	<p>新横浜ステーション開発(株) 代表取締役社長 菅生 邦孝</p>
<p>名古屋ターミナルビル(株) 代表取締役社長 酒井 吉彦</p>	<p>静岡ターミナル開発(株) 代表取締役社長 栗栖 哲義</p>	<p>浜松ターミナル開発(株) 代表取締役社長 向山 雅衛</p>	<p>名古屋ステーション開発(株) 代表取締役社長 渡部 一俊</p>	<p>ジェイアール東海静岡開発(株) 代表取締役社長 高橋 陵太郎</p>	<p>東京ステーション開発(株) 代表取締役社長 明石 洋一</p>	<p>ジェイアール東海関西開発(株) 代表取締役社長 片山 好郎</p>
<p>(株)ジェイアール東海ホテルズ 代表取締役社長 深山 靖</p>	<p>静岡ターミナルホテル(株) 代表取締役社長 清水 暎一</p>	<p>名古屋ターミナルホテル(株) 代表取締役社長 深山 靖</p>	<p>(株)ジェイアール東海ツアーズ 代表取締役社長 吉田 修</p>	<p>(株)ジェイアール東海エージェンシー 代表取締役社長 今村 元</p>	<p>(株)ウエッジ 代表取締役社長 松本 怜子</p>	<p>新生テクノス(株) 代表取締役社長 下前 哲夫</p>

<p>あけまして おめでと〜うございます (順不同)</p> 	<p>ジェイアール東海建設(株) 代表取締役社長 本多 啓</p>	<p>ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株) 代表取締役社長 澁谷 高司</p>	<p>中央リネンサプライ(株) 代表取締役社長 宮内 忠雄</p>	<p>ジェイアール東海情報システム(株) 代表取締役社長 今福 博之</p>	<p>日本機械保線(株) 代表取締役社長 杉山 徳平</p>	<p>東海交通機械(株) 代表取締役社長 鈴木 正訓</p>
<p>ジェイアール東海コンサルタンツ(株) 代表取締役社長 土井 利明</p>	<p>新幹線エンジニアリング(株) 代表取締役社長 高瀬 義道</p>	<p>新幹線メンテナンス東海(株) 代表取締役社長 渡邊 高峯</p>	<p>セントラルメンテナンス(株) 代表取締役社長 磯崎 哲</p>	<p>(株)関西新幹線サービック 代表取締役社長 藤田 邦隆</p>	<p>東海整備(株) 代表取締役社長 佐藤 慎一</p>	<p>シーエヌ建設(株) 代表取締役社長 寺島 優</p>
<p>双葉鉄道工業(株) 代表取締役社長 磯浦 克敏</p>	<p>(株)鉄友社 代表取締役社長 赤峰 博文</p>	<p>(株)名古屋鉄友社 代表取締役社長 井上 隆次</p>	<p>(株)中部総合ビルサービス 代表取締役社長 井上 隆次</p>	<p>日本車輛製造(株) 代表取締役社長 生島 勝之</p>	<p>名工建設(株) 代表取締役社長 増永 防夫</p>	<p>(株)全日警 代表取締役社長 片岡 直公</p>
<p>鉄建建設(株) 名古屋支店 執行役員支店長 阿比留 卓雄</p>	<p>(株)リックフーズ 代表取締役社長 齋藤 蒨</p>	<p>名古屋通信工業(株) 代表取締役社長 清水 源治</p>	<p>アイワ電設開発(株) 代表取締役社長 山岡 泰利</p>	<p>東邦電気工業(株) 代表取締役社長 山内 英樹</p>		



### 三島支部創立二十五周年記念行事 身延線「特急ふじかわ号」利用 による下部温泉口帰りの旅

— 五十八名の参加を得て盛会裡に開催 —

三島支部長 大川一雄

三島支部は昭和五十六年四月、沼津支部から分離独立して、二十五周年を迎えました。

四月份例会の際、これを記念して心に残る記念行事を開催しようとの声が上がリ、相談の結果、二・三の候補の中から、折角の記念行事だから少しでもJRへの増収に寄与するために鉄道によることとし、身延線特急ふじかわ号を利用した下部温泉(昼食・入浴)日帰りの旅に決定しました。実施月日八月二十三日(水)

実施に当たっては当初団体扱い(往復特急指定席)として四十名を目標に会員へ募集をしたところ、予想以上に参加者が増え、急遽ジェイアール東海ツアーズ沼津支店様をお願いして、五十名分の指定席を確保して頂き、最終的には会員五十六名、来賓としてJR三島駅玉尾駅長、静岡地本白井事務局長も加わり、計五十八名(男性四十三名、女性十五名)の参加を得て盛会裡に開催することができました。ここ下部温泉は信玄

の隠し湯として有名、「名湯百選」にも選ばれた超豪華下部ホテルにおいて入浴、十一時から懇親会となり玉尾駅長、白井事務局長の挨拶、長老野田相談役の元氣な乾杯の音頭後、懇親会に入り、お酒を酌み交わし豪華な食事をしながら、カラオケなどを楽しみ時間が経つのも忘れた懇親会となりました。

今回参加のOBは七十歳代の会員が多く、当初体調不安を心配していましたが、全員元気に超豪華下部ホテルの食事を味わい入浴、お陰様で好天に恵まれ初秋の身延路を満喫することができました。

OB会としても会員の更なる親睦を深めると同時に、JRへの増収協力の一環として、少しでもJRへのご恩返しできればと企画したもので大変有意義であったと思います。

ジェイアール東海ツアーズ増収協力額三十三万三千元

### 気持ちよく利用を願う 千種駅前を美しく

千種名東支部事務局 伊藤典男

日頃、千種名東支部会員がお世話になっている中央線の千種駅になにか恩返しをすることがないかと思案して、名古屋市営地下鉄と交差し、市バスへの乗り換えも便利のため、毎日乗降客が極めて多く、駅前タバコの吸殻やゴミの投げ捨てなどが数多く見受けられましたので、駅前付近を清掃してJR東海のイメージアップをと考えました。今回は翌日が鉄道の日の十月十三日に、千



なお、当日千種駅長様から感謝のお言葉を頂き恐縮いたしました。

(追記 駅の外へ出てからタバコの投げ捨てをする乗客が多く嘆かわしいことだと感じました)

種名東支部会員十三名が朝の通勤客が多い時間帯での駅前の清掃にかけ、通勤客の激しい往来が過ぎるまで清掃を行ってきれいな駅前にすることができました。

これからも時々千種駅へかけて、OB会員としてJR東海への協力の一助となればと参加者一同で話し合い散会しました。

### 第九十回歩こう会

### 「中山道垂井宿と南宮大社」を終えて

伊勢支部 上地武夫

伊勢支部の歩こう会は今回で九十回目となりましたが、回を重ねる毎にOB会員は年々高齢化し、行先の選定に苦慮し歩距離や標高差など無理のないコース設定に心がけています。

ある日の新聞に「元氣・あるく」の特集記事が載りました。そのコースは「竹中氏陣屋跡と南宮大社」で大変魅力のあるコースで、早速検討に

入りましたが、OB会員の歩こう会コースには無理と判断し、南宮大社を含めた別コースを考えました。

私も現職当時は垂井駅と伊勢市駅では所属する局も違っていたので、お互いに電話で話したこともないOBたちで、垂井駅周辺のコース選定には手間どり、一時はこのままでは立ち消えになるのではないかと心配しました。

このようなときに発想転換に絶好の機会が訪れました。伊勢神宮の式年遷宮の御用材伐り出しが木曾山中で始まりました。平成十七年六月三日に裏木曾で御樋代木が伐り出され「御神木」として伊勢へ向かい、お立寄り先に指定された垂井町に到着したのが六月八日。南宮大社の境内に安置された御神木の前で垂井町民による歓迎を受けたのち翌六月九日には伊勢に到着し、内宮において御樋代木奉曳（川曳き）が行われ、翌十日には外宮において同様の御樋代木奉曳（陸曳き）が行われました。

このように南宮大社と伊勢神宮で御神木の奉迎行事が殆んど同時期に行われたことに意義を感じ、又、垂井町の皆様方に親しみが増し、急速に計画が進み十月七日出発と決定しました。しかし出発の数日前からぐずついた天気と台風接近も報じられ、企画乗車券「青空フリーパス」は土曜・休日利用に限定され、昼食も予約してあり心配しましたが、幸いにも当日は朝から晴天となり参加者二十九名が元気に伊勢を出発しました。

十時二十一分垂井駅に到着。改札口前では垂井支部長様始め五名のOB会員の方たちの出迎えを受け観光資料を全員に配っていただき、その上、全行程を同行という思いもかけない歓迎に参加者全員が大喜びをしました。八十八歳を

最高齢に八十歳代が五名もいて足も遅く、先頭を歩いての御案内にはさぞかし御迷惑をおかけしたと思います。

自分の史跡では、中山道の本通りだけでは垂井宿の全体がつかみにくいと考えて取り入れたコースでしたが道標なども説明していただき、次いで訪れた旅籠の亀丸屋では、建物の前だけの説明で通過する予定を、玄関の中まで入れていただき、江戸時代からの建物内部の柱や梁などの骨組みの様子の説明など細かいご配慮いただきました。



南宮大社境内での詳しい説明には、特に女性会員の方たちの喜びようは大きく、伊勢神宮のようにならぬ二十一年毎の式年遷宮で神殿が新しくなるのと違って、江戸時代に再建され三百六十年以上も経つ建物の殆んどが国の重要文化財というご説明に大きな感銘を受けたようです。

当初はみんなが歩けるかどうか心配でしたが、南宮大社から真禪院を経て西の見附跡までの長い道程を同行の方々の手助けを受け無事歩き通すことができました。

又、見附の前では広重が画いた垂井宿と現在の風景を比較説明を受け、往時の街道の様子がよくわかりました。

最後の紙屋塚での説明を聞かせていただいで

から、途中の銘菓舗で買った垂井のおみやげを手にした遺族会員の方が垂井駅まで歩きながら話された次のひと言に垂井に決めてよかったなあと思いました。

「垂井は良い町でしたね。いいところへ連れてきていただきました。機会があれば、もう一度でも来てみたいと思います。」

### 二〇〇六年秋 さわやかウォーキング 「歩こみやあ名古屋の文化のみち」 のコース案内に参加して

千種名東・守山・名城東北支部連合

JR東海の二〇〇六年秋さわやかウォーキングでは、名古屋近郊を巡って歴史や産業などを探訪する「名古屋近郊シティウォーキングコース」が新設されたのが今秋の特徴で、中央線千種駅での「みんなて歩こみやあ名古屋の文化のみち」が、さわやかな秋の好天に恵まれた十一月三日に行われ、初めての名古屋市中心部のコースに多数の参加者が訪れ、「さわやかウォーキング」開始十五周年に相応しいイベントとして成功裡に開催されました。

コースは、城下町として歴史と文化の香り高い名古屋の歴史的な遺産と貴重な建築遺産の保存、沿道の景観と調和した緑道が整備された趣のある散策路が設定されました。（一般向きコース約十一キロメートル・約三時間）

- 千種駅↓①布池教会↓②建中寺↓③旧川上貞奴邸↓④市政資料館↓⑤名古屋城正門から名城公園出口↓⑥片山八幡神社↓⑦徳川美術館↓大曾根駅ゴール

（家族向きとして④から⑦への約七キロメートルも設定されました）





なお、名古屋市も歴史的建造物を巡るイベント「歩こう！文化のみち」を同時に開催さ

この計画は、六月に開催の千種名東支部、守山支部及び名城東北支部の各支部総会で来賓の千種駅長様から計画の概要をお聞きし三支部とも会員が千種駅には非常にお世話になっているので「歩こみやあ名古屋の文化のみち」のコース案内に支部会員が協力させて頂くとお約束申し上げ、十月に入って千種駅と綿密な打ち合わせを重ねコースの主要ポイント八箇所をOB会員で担当し参加者の案内をすることになりました。

当日七時四十分千種駅へ集合した三支部の会員十八名は、千種駅長の訓示と指示を受け「歩こみやあ名古屋の文化のみち」のコース内に設置されたポイント八箇所の案内役として千種駅長の指揮下に入り、参加者が千種駅をスタートする八時三十分までには、各ポイントに就き、東海鉄道OB会本部が作成したばかりの新しいオレンジ色の腕章「東海鉄道OB会」を巻き、混雑する休日の名古屋市内での参加者の交通安全に注意するとともに、快適な「さわやかウォーキング」を楽しんで頂けるように誘導案内を行いました。

大曾根駅でのゴール受付終了の十五時過ぎを待つ、千種駅長の指示により各ポイント八箇所を撤収して、十六時過ぎに大曾根駅会議室に集合。千種駅長の謝辞を受け、それぞれ所属する支部長の解散指示により家路に着きましたが、使命達成感と無事に終わった安堵感で一杯でした。

れ、コース途中の各箇所にガイドボランティアが配置され、歴史的ないわれなどの説明があったのが好都合でありました。

### 名古屋地方本部 第一回ゴルフ大会開催

名古屋地方本部 事務局次長 水谷淳三

名古屋地方本部では会員の親睦を図るため、このたびゴルフ大会を計画して各支部へ連絡をしたところ、六十名の参加申し込みがあり次により開催しました。

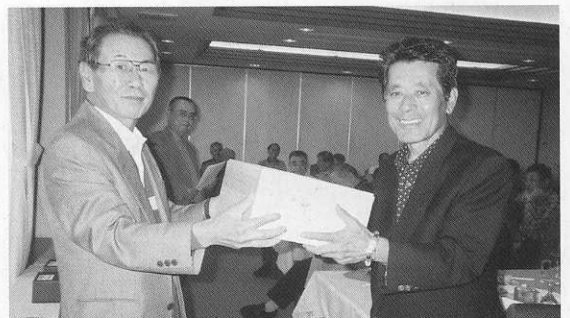
- 開催日 平成十八年十月二十六日(木)
- コース 花の木ゴルフクラブ(岐阜県瑞浪市)
- スタート ダブルベリア方式として八時五十六分・アウト・イン同時スタート

この花の木ゴルフクラブは、公式競技も開催される名門コースで、東海鉄道OB会員が会員証の呈示により優待プレーができるようにしていただいているところで、今回も特別にご配慮をいただきました。

地方本部事務局では、初めての計画で暗中模索でありましたが各支部、各会員の方々の協力で予想を上回る参加申し込みがあつて開催に漕ぎつけました。

開催当日は、天候に恵まれ中秋の爽やかな風も心地良く参加者全員が早々とコース入りし、意気込む姿が随所に見られました。

スタート定刻、アウトスタート地点で平井地方本部長が挨拶のあと始球式を行い、インスタートも同時刻に長老による始球式で同時スタートしました。このコースは名門コースだけあつて距離は長く、適度なアップダウンやうねりがあり、見た目



と違って多くの参加者が悪戦苦闘を強いられ、途中の茶屋で一息ついでのプレー続行となりました。

ハーフ休憩のハウス内レストランではお互いに顔を合わせ、スコアカードを見せ合いながらよかった、だめだったなどの会話をしながらゆっくり食事を摂る人、早々に済ませて残りハーフに盛り返しを期すための準備に向かう人で賑やかなひとときでありました。

残りハーフは秋特有の風が吹き、より苦戦を強いられ、プレー終了後のスコア提出もそここにして浴場に消えて行きました。

入浴を済ませ三々五々とコンベ室に集まったところに、クラブの好意で作られた成績表が参加者それぞれに配られると、全員が騒然となり自分や友の成績に目を通し喜びや残念さを表面に出して会話のボリュームがあがるうち表彰式に移り、地方本部が特別に用意した賞品が平井地方本部長から手渡され、オードブルとドリンクによる歓談のち「またやってほしい」のこぼれを地方本部が受け止め、各々が家路につきました。

当日の上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- |     |        |               |
|-----|--------|---------------|
| 優勝  | 尾北支部   | 松岡 弘          |
| 準優勝 | 千種名東支部 | 川本武夫(みたけすみれ会) |
| 第三位 | 恵那支部   | 大松嘉雄          |

# 増収強力活動の一環としての「小豆島の旅」の実施

名古屋地方本部 事務局長 加藤寿美夫



名古屋地方本部主催のJRグループに対する増収協力活動として実施しているジェイアール東海バス五台を使つての旅は、今年で二十六回を数え、約百六十名の参加者により小豆島の旅として十一月七日から八日にかけて実施した。

出発当日は、各地から集まる五台が午後になつて隊列を組んだが、これは小豆島に渡るフェリー乗船の都合でそれぞれが時間的余裕を持つため、昼食はジェイアール東海バスセンター謹製の車内食として、フェリーポートまで若干の途中休憩だけのほぼ直行となり、途中の景色は車窓からの眺めだけとなった。

日生のフェリーポートでジェイアール東海バス五台が揃つて乗船するときには、待合わせのトラック・バスの乗務員などが珍しそうに振り向くなど、ジェイアール東海バスのPRにも一役買った気がした。大部に上陸、釣瓶落としの日が落ちてから宿泊の小豆島国際ホテルに到着。旅の疲れと汗を洗い流し、早速お待ちかねの酒盛りの宴が始まった。

平井地方本部長の参加者への謝意、代表による乾杯の発声で宴の幕が開き、すぐ佳境に入つて瀬戸内で獲れた魚料理に舌鼓を打ちつつカラオケ、踊りや久し振りの旧友と酒を酌み交わすなどで、予定を大幅に超えてからの閉宴となった。

翌朝は朝食もそこそこにしてホテル内売店コーナーで、いつもながらの瀬戸内、小豆島の特産品などをドツサリ買い込む姿が多く見られ、動き出したバスも重そう。車窓の景色をガイドさんから説明を聞くうちオリーブ園に。園内では取入れ間近かのオリーブの実を見て再びバスに乗り、ブルーラインを通つて寒霞渓頂上へ。開けた展望から見事な紅葉や古えの火山噴出物による景観を眺め、近くの瀬戸内の島々や四国の山並みを遠望し、旅を満喫した。

バスとともに再びフェリーに乗り込み、昼食地である揖保の糸さうめんの里へと向かった。

空腹感を抱きながら昼食に入り、昨夜の大宴会を思い出したり脳裡に浮かぶ先程の寒霞渓の話に花が咲くなどの一方で、土産の買い足しなど賑やかなうちに時間の経つのも早く、急かされながら帰路についた。

家路は、各号車毎に別れるため多賀サービスエリアで、五台揃つての休憩が最後になるので旧友、知人お互いに手を握り合うなどして再会を約す姿がアチコチ見受けられたが、別れを惜しみつつバスは家路を急いだ。

(ジェイアール東海バス取扱額概算四百五十万円)

## 「第三回東海大阪地方本部ゴルフ大会の開催」

東海大阪地方本部 施設支部事務局 辰巳俊彦

平成十八年十月十九日(木)に三重県「阿山カンツリー倶楽部」に於いて、施設支部の幹事により東海鉄道OB会東海大阪地方本部ゴルフコンペを開



催しました。

当日は秋晴れの中、総勢三十六名の参加を得、片山地方本部長の挨拶のあとアウト五組、イン四組に分かれ、九時三十分の同時スタート、各コースとも良く整備されており、特にグリーンは高速仕様でホールアウトに悪戦苦闘していた様子でした。

終了後、コンペルームで表彰式を行い、塩尻施設支部長の挨拶のあと賞品の授与が行なわれ、栄えある優勝者はOB会事務局長の吉村潤治氏が受賞されました。最後に、今回世話人の施設支部、事務局より閉会の挨拶で、無事コンペを終了しました。

## 平成十八年秋の生存者叙勲受賞者

東海鉄道OB会員で、平成十八年秋の生存者叙勲を受章されたのは、次の五名の方です。

おめでとございました。

- 瑞宝小綬章 大倉 照二 様 (浜松東支部)
- 瑞宝小綬章 尾登 數夫 様 (岐阜工務局支部)
- 瑞宝単光章 帯金 芳郎 様 (長泉支部)
- 瑞宝単光章 服部 泰輔 様 (津支部)
- 瑞宝単光章 鈴木二三夫 様 (浜松東支部)

# JR東海ト

# ピックス

JR東海の社内誌「おれんじ」10月～12月号の記事を抜粋して掲載しています。

人事部

## 効績章表彰式

おめでとうございます

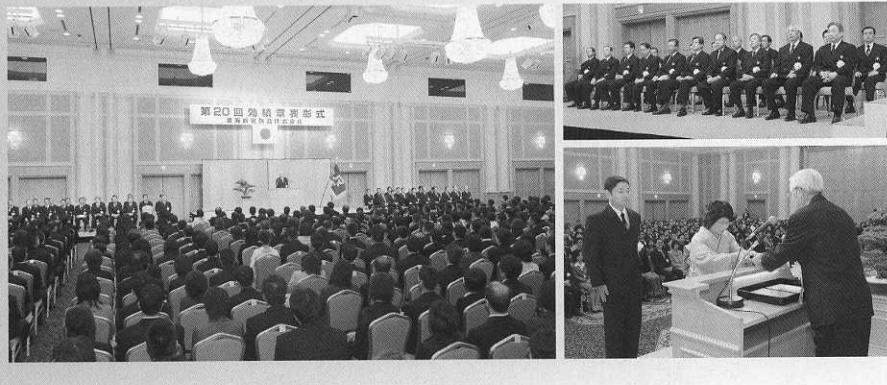
10月16日、第20回効績章表彰式を名古屋マリオットアソシアホテルで午前・午後の2部制で行いました。

表彰式では、松本社長から受賞者（829名）の各所属の総代6名に表彰状並びに効績章が授与されました。

続いて、葛西会長、松本社長が受賞者とご家族の方々に対して効績章受賞の榮譽を称えるとともに、「日々の安全を気遣うことを忘れず、これからも一歩一歩前に向かって建設的に進んでいく必要がある。そして、今後も引き続き後輩への技術継承に力を注いでいってほしい」と挨拶しました。

これに対して、午前の部は名古屋運輸区の小保田一貴さん、午後の部は大阪第一運輸所の伊吹尚己さんが受賞者を代表して「JR東海の社員であることに大きな誇りを感じています。今日の受賞をひとつの節目としながらも新たなスタートと位置付け、これまでの体験を後輩に伝えていくとともに、日々の業務に励んでいきます」と答辞を述べました。

なお、この他の永年勤続者表彰についても、それぞれの勤務箇所において行いました。受賞者は15年勤続者表彰892名、10年勤続者表彰324名の計1,216名となっています。



リニア開発本部

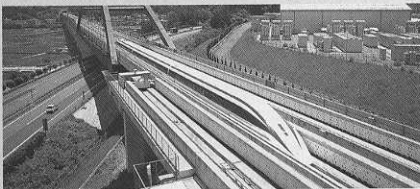
## 山梨リニア実験線

## 設備更新及び延伸について

東京～大阪間の大動脈輸送を使命とする当社は、高速大量輸送システムのさらなる発展を目指して、超電導リニアの技術開発を進めています。平成9年4月に山梨リニア実験線（先行区間18・4km）において走行試験を開始し、平成17年3月には、国土交通省の超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会から、超電導磁気浮上式鉄道について「実用化の基盤技術が確立した」との評価を受けました。平成17年度以降は新たな段階として、概ね5年間で、先行区間においてさらなる長期耐久性の検証・さらなるコスト低減等を目指した走行試験を行っています。

これにより、長大編成車両によるトップスピードでの長距離走行や長大トンネルの走り抜けなどの技術的テーマに対応し、実用レベルの仕様の確認を行うとともに保守体系を確立させるなど、超電導リニアの実用に向けた技術を確認していきます。

山梨リニア実験線については、先行区間における実験開始から10年目を迎え、超電導リニア技術は、周辺技術も含めて格段に進歩している現状を踏まえ、今後、基盤技術が確立した設備を実用レベルの仕様に変更するとともに、一般区間（山梨実験線の建設計画）のうち先行区間を除いた区間）までの延伸を行います。



▲超電導リニア車両



▲山梨リニア実験線図

### ◆ JR東海トピックス ◆

東海鉄道事業本部

平成18年度

## 10月1日ダイヤ改正を実施

当社の在来線では、新たに313系電車204両を製造する一方、電力容量不足を補うための変電所の新設を進めるなど、輸送力増強に向けた施策を進めてきました。このたび、東海道本線用の新製車両72両（6両編成12本）が完成したのに合わせ、朝夕の通勤時間帯や昼間時間帯の快速列車を大幅に増強するダイヤ改正を10月1日に実施しましたので、その概要をお知らせします。

### 1 新しい313系車両デビュー

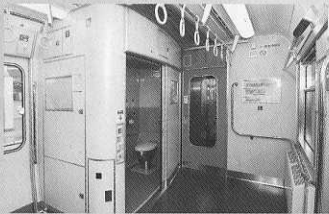
新しい313系は、オール転換クロスシートを採用により向かい合わせ座席を解消、すべての座席で進行方向に向けてゆったりと着席いただける他、車イス対応トイレを広くしてドアも電動化するなど、より快適にご乗車いただける車両としています。

### 2 東海道本線の朝、夕通勤時間帯の利便性を向上

平日朝の通勤時間帯では、豊橋を朝7時



▲オール転換クロスシートを採用し向かい合わせ座席を解消



▲車イス対応トイレを従来より広くし、ドアも電動化



▲313系新製車両

台に発車する名古屋方面への「特別快速」「新快速」を全て8両編成で8分間隔運転とした他、平日夕方のピーク時間帯には名古屋から豊橋方面及び岐阜方面への快速列車を各3本増発し、豊橋方面・岐阜方面とも現行15分間隔を10分間隔での運転としました。これらにより、毎日の通勤がより便利・快適になりました。

### 3 昼間時間帯の快速列車を増強し、着席サービスを向上

大垣・豊橋間で、主に4両編成で運転していた昼間時間帯の快速列車をすべて6両編成に増強し、混雑の緩和を図りました。これにより毎時4本運転している快速列車の1時間あたりの総座席数は15倍に増加し、ビジネスやショッピングなどでの移動に、ゆったりとご乗車いただけるようになりました。

人事部

おめでとうございます

## 平成18年度国土交通大臣表彰 及び運輸局長表彰

平成18年度国土交通大臣表彰式が10月16日、東京都内のホテルで行われました。

これは、永年にわたり鉄道関係に功労のあった者に対して行われるもので、当社からは、後藤修高山駅長、宮本茂治米原保線所長、太田守富士駅長、上坂治米原駅長の4名が冬柴国土交通大臣に替わって望月国土交通副大臣より表彰されました。

また、各地方において運輸局長表彰式が行われ、左記の47名の方が受賞されました。



▲国土交通大臣表彰式

### 平成18年度国土交通大臣表彰受賞者

後藤 修 (高山駅)、宮本茂治 (米原保線所)、太田 守 (富士駅)、上坂 治 (米原駅)

### 平成18年度各地方運輸局長表彰受賞者

#### ●関東運輸局長表彰

田嶋昭夫 (東京第一運輸所)、藤澤浩治 (東京第一車両所)、佐藤武紀 (東京施設事務所)、大石哲弘 (同)、松永健司 (南甲府駅)、土屋正文 (身延工務区)

#### ●中部運輸局長表彰

山下博道 (豊橋駅)、白井哲男 (豊川駅)、山本由一 (同)、西野秀文 (高蔵寺駅)、柘植悦朗 (多治見駅)、足立清一 (中津川駅)、保崎 貢 (豊橋運輸区)、矢島 一 (美濃太田運輸区)、前田恭雄 (神領運輸区)、安藤幸夫 (大垣車両区)、田中 昇 (名古屋工場)、山田豊彦 (岡崎保線区)、加藤孝司 (新城工務区)、平野秀雄 (浜松工場)、濱本裕司 (同)、江馬龍次 (同)、作間武敏 (静岡施設事務所)、松井 徹 (名古屋施設事務所)、坂井直之 (岐阜羽島保線所)、桑原清剛 (静岡電力事務所)、伊藤孝一 (静岡電力所)、大城健次 (浜松電力所)、神谷 正 (鷲津駅)、飯田正昭 (裾野駅)、登内文雄 (静岡運輸区)、本間富雄 (浜松運輸区)、石貝晋一 (静岡保線区)、太田 守 (富士信号通信区)、濱口和夫 (伊勢運輸区)、林 貞夫 (伊勢車両区)、立花勝己 (紀伊長島工務区)

#### ●北陸信越運輸局長表彰

關目吉徳 (木曾福島工務区)

#### ●近畿運輸局長表彰

本郷良雄 (関西支社管理部人事課)、高田 修 (大阪第一運輸所)、奥村和生 (同)、平尾治雄 (同)、高嶋輝之 (大阪第二運輸所)、森神秀男 (大阪第一車両所)、谷口 博 (同)、森脇 誠 (大阪第三車両所)、廣瀬 立 (大阪新幹線構造物検査センター)

### ◆ JR東海トピックス ◆

建設工事業部  
東海鉄道事業本部

## 平成19年秋の全線復旧に向けて

# 高山本線（角川く猪谷間）復旧工事

平成16年10月の台風23号で橋りょう流出などの大きな被害を受けた高山本線の角川く猪谷間（27・5km）は、昨年11月に本格的な復旧工事に着手しました。これまで工事は順調に進んでおり、流出した橋りょうについては橋脚の復旧はほぼ完了し、橋を架設するまでに至りました。

また、9月15日には、復旧工事が順調に進んでいることから、坂上く打保間の第5宮川橋りょうの桁架設工事を報道公開しました。当日は新設した

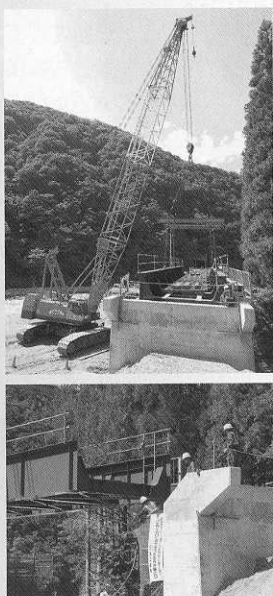
長さ約23m、重さ約40トンの橋桁を大型クレーンを使って架設する様子を公開しました。約30名の報道関係者を前に作業は予定どおり行われ、30分ほどで新しい橋桁

が設置されました。工事の様子はテレビのニュースや新聞で「来年秋の運転再開に向け復旧が順調に進んでいる」と報道され、高山本線の運転再開への期待の大きいことがあらためて分かりました。

今後、復旧工事は、軌道、電気設備の復旧を中心に行っていきます。平成19年秋の全線復旧に向け関係者一丸となって工事を進めていきます。



▲大型クレーンを使用しての桁架設工事



静岡支社

## さらにわかりやすく、利用しやすい駅に

# 静岡駅出札窓口リニューアル

平成17年6月より改良工事を進めてきた静岡駅の出札窓口が、11月1日にリニューアルオープンしました。

今回の改良工事では、新幹線改札口と出札窓口・ATV端末機を中央コンコースに面した配置とするとともに、現在改良工事中の在来線改札及び券売機（19年1月にリニューアル終了予定）も並列化し、お客さまが一層わかりやすく、ご利用しやすくなります。さらに、中央コンコースに大型案内表示板（ウェルカムゲート）を設置する他、床・壁・天井を白を基調とした明るい配色で化粧化するなど、19年3月のグランドオープンに向

け工事を進めていきます。

静岡駅では、今回の出札リニューアルオープンを新たなスタートラインと位置付け、設備面だけでなく、駅社員による接客サービスも向上させる運動を、静岡駅「フロント対応方向上委員会」の提案により開始しました。お客さまに気持ち良くご利用いただけるサービスを提供していくため、「静岡駅「咲かそう笑顔の花」運動」のキャッチフレーズの下、社員一丸となり、フロントサービスアップを実現します。

笑顔とさわやかな対応で、お待たせしないプロのサービスを実践し、JR東海No.1のトップサービスを目指してまいります。



▲リニューアルしたきっぷ売場



▲総点呼で「JR東海No.1のサービスを目指します」と宣誓した鈴木さん

# /// グループインフォメーション

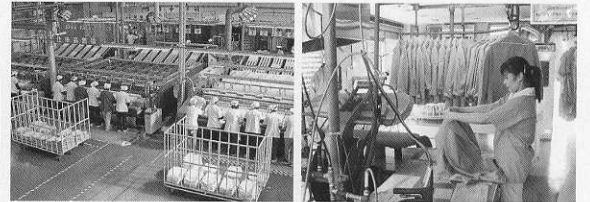


クオリティの高い商品を提供

## 中央リネンサプライ(株)

当社は昭和39年(1964年)の東海道新幹線の開業に合わせて、鉄道リネン用品(座席のもたれカバー等)のレンタルとその洗濯の仕事を「リネンサプライ」という当時としてはまったく新しい形態の事業を行う会社として発足しました。その後、JR東海グループの制服の洗濯やシティホテルの客室内のリネンサプライ業務を行う等、多岐の方々に快適な商品の提供を行っています。

これまで当社では、リネン類を安定供給することを基本としつつ、生産体制の再構築を進め経営体質強化に努めてまいりました。その一環として、品質管理の国際規格であるISO9001:2000年版の認証を当社5事業所で取得し、より良い商品をお客さまに安定して提供す

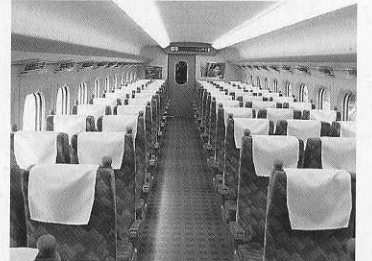


▲小山工場の作業風景

▲横浜工場ドライ職場の様子

るための体制を整えました。

クオリティの高い商品を提供することでお客さまから信頼を獲得し、今後とも多様なニーズにお応えしていきたいと考えています。



▲もたれカバー

■ホームページ

<http://members.aol.com/chuolinen/>



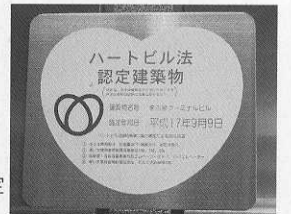
お買い物、お食事は「テルミナ」で

## 名古屋ターミナルビル(株)

名古屋ターミナルビルは、ホテル、百貨店、専門店、駐車場などからなる複合ビルであり、多くのお客さまが安心・安全にご利用いただけるよう心がけています。

当ビルは、平成17年9月9日に名古屋市から「ハートビル法認定建築物」の認定を受けました。これは、当ビルを高齢者、身体障害者などの方々が円滑に利用できる、人に優しいビルに生まれ変わったことが認められたもので、既存ビルの改修としては、名古屋で初めての認定となりました。

また消防関係では、当ビル・テルミナ地下街は、平成15年に「防火優良認定証」を受けて以降、本年も、厳しい消防点検・検査を受けたのち、10月1日に継続認定を受けています。当ビルが、各種災害に強い施設であり、不特定多数のお客さまが安心してご利用できる施設であることが改めて証明されました。



▶ハートビル法認定建築物の認定証



▲防火優良認定証

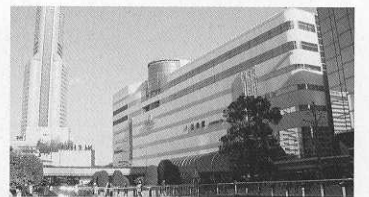


「MAY ONE EKIMACHI (メイワン エキマチ)」誕生

## 浜松ターミナル開発(株)

当社は、JR浜松駅に位置する駅ビル「MAY ONE (メイワン)」をはじめとした商業施設の開発及び管理運営を行っています。浜松駅構内の高架柱耐震補強工事に伴う「浜松駅総合開発計画」と合わせて、11月11日、コンコース西側に商業施設をオープンしました。これを機に、浜松駅コンコースの商業施設を「MAY ONE EKIMACHI (メイワン エキマチ)」として一体運営し、コンコース西側を「EKIMACHI WEST」、東側の既存エリア(旧コストア東館)を「EKIMACHI EAST」と新たにネーミングしました。

「EKIMACHI WEST」には、様々な業態を展開している(株)クリエイティブ・レストランズの新業態「TOKYO GRILL」「遠州濱乃屋」や、「沼津魚がし鮓」「驛麺通り」等の飲食5店舗に加え、スイーツ・弁当等の物販15店舗を導入しました。通勤・通学等で駅をご利用になるお客さまはもちろん、近隣のオフィスワーカーや都市生活者の方々にもご利用いただきやすい商業施設を目指しています。



▲ 開業18年を迎えた駅ビル「MAY ONE (メイワン)」

▲▼ 浜松駅コンコース西側商業施設「EKIMACHI WEST」(飲食・物販ゾーン)

浜松市は、来年4月に政令指定都市となります。その玄関口・浜松駅で、開業18年を迎えた駅ビル「MAY ONE」共々、皆さまのご利用を心よりお待ちしております。



「さ、おあがりください」

幸せを願い、一年中しめ縄を飾る伊勢。  
そんな伊勢への旅は、運を開く旅、  
なんだかそんな気がしてきます。  
さあ、大切な人と、伊勢路の旅で、ごゆっくり。

名古屋市内発 1人用

◎おとな お一人／往復

7,500円

タクシー乗車券  
6,000円分付

うち2,000円分は  
「おかげ横丁」協賛店で  
利用OK!



2人目から(4人目まで)

◎おとな お一人あたり／往復

2,000円

◎観光施設割引特典付!  
「かえり」のきっぷを協賛施設でご展示いただくと  
割引特典が受けられます。



福旅をしよう。

伊勢路フリーきっぷ



[有効期間] 3日間 [発売期間] 通年 [発売箇所] 出発地周辺のJR東海の主な駅及び主な旅行会社の支店・営業所  
名古屋市内発以外の設定もあります。※詳しくは、JR東海の駅にある専用パンフレットをご覧ください。

# 読者のひろば

## ダイヤモンド賞受賞の榮譽に浴して

三河支部 鷹見睦三

最近、ゲートボールに代わってグラウンド・ゴルフが盛んになりました。

グラウンド・ゴルフは専用の木製クラブで野球ボール小(直径九センチ・重さ百グラム)の樹脂製ボールを打ち、ホールポストと呼ばれる金属製の輪の中へボールが入るまで打ち続ける競技です。公式競技を開催する場合は、(社)日本グラウンド・ゴルフ協会規約のオフィシャル・ルールに基づいて、ABCゾーンに分れて、各組(八〜九名)が標準コース(五十メートル、三十メートル、二十五メートル、十五メートル)の各二ホールの計八ホール)を前半と後半に分けて二回プレーし、計十六ホールの打数の少なさを競う競技です。

ダイヤモンド賞は、前・後半の八ホールの競技の中でホールイン・ワンを三回以上した時に得る難関の賞です。

私は岡崎グラウンド・ゴルフ協会の愛宕支部に入会し三年余になります。これまでに伊勢、御前崎、湯の山と親睦旅行にも参加して、努力と精進を重ね、県大会の岡崎、三好、豊橋、西尾の各大会にも参加し、又岡崎協会主催の中総、六名の各大会、市長杯、中日杯にも参加して頑張ってきました。ところが今年の夏に壁にぶつかり悩んでいた時に、家内の親友の都築菊世さん(八十一才)

からご指導とアドバイスを受けました。師匠は常に笑顔を欠かさない礼儀正しい、優しい貴婦人です。

師匠曰く「私の打ち方は第一打でも、第二打の時でも必ず一息入れて、ホールポストに向かって、直線に入れるようにしています。」とアドバイスを受けて、それからは途絶えていたホールイン・ワンも復活して楽しくプレーする事が出来るようになった。

平成十八年十月七日(土)午前九時から、岡崎協会主催の秋季親睦GG大会が岡崎六名公園運動場で開催されました。参加三十七支部、参加者は五百二十五名(男二百七十六名、女二百四十九名)です。

前日までの強風雨は、東北地方に移り秋晴れの快晴です。

午前十時十分A・Cゾーンスタート。前半競技のCゾーン十五組八名はホールイン・ワン無しで二十二〜二十五、私は二十三でした。十二時二十分後半開始、七コース(二十五メートル)からスタートし、八コース(十五メートル)一コース(三十メートル)二コース(五十メートル)と進み、三コース(三十メートル)で今日最初のホールイン・ワンを、四コース(五十メートル)は四打、五コース(二十五メートル)で二度目のホールイン・ワン、六コース(十五メートル)の最終ホールで三回目のホールイン・ワンを達成しました。表彰式では思いがけないダイヤモンド賞を受賞

し、興奮して、手が震えてきました。当日私は心身ともにコンディションは良好で、運も味方してくれ難関を突破する事ができました。

今後は、

(一) 心身を整えて、プレーする。

(二) メンバーに明るく声をかけ、楽しいムード

作りに心掛ける。

(三) グラウンド事情に目を配り、グラウンド

コンディションに精通するように努力する。

以上三項目に努力し、謙虚な師範を見習って精進し、二度目の「ダイヤモンド賞」受賞をめざして、今後の楽しい老後を過ごしたいと思っております。

## 鉄路の闘い

名古屋機関区支部 大橋欽一

昭和十六年四月、「桜、桜は春の魂なり」と学校で聞きかじった言葉で希望に胸ふくらませ「鉄道省名古屋鉄道局・名古屋運輸事務所・名古屋機関区庫内手を命ず。日額九十八銭を給す」畏まった辞令をK機関区長からうやうやしく頂いた。

ここから四十一年にわたる「鉄路の闘い」が始まった。当時、十四・十五歳の子供に取りつかれたSLから見れば、案外、私達は飛んで火に入る夏の虫だったような気がする。そんなことと思われらるなら「日本国有鉄道百年史」を見て頂きたい。



いわく「国鉄においては、主体となる青壮年男子の労働力は予告なしに大量に軍需要員に繰り込まれていった。この労働力の不規則な大量移動によって生ずる不足は、その都度より低質な新しい労働力によって応急的に補給されなければならなかったのである」と。

膨大な国鉄史のこのページを読むと、私は今でも思い複雑である。私達は戦争のために「応急的に補給」された「より低質な新しい労働力」でしかなかったのである。

当然この事実は知る由もなく、この先々、SLとともに悲喜交交のSL人生ドラマが続いたわけである。

ともあれ勇躍して缶磨きに励んだ。油あかと煤にまみれ「カラスの子」と揶揄されナツパ服は黒光りだった。私の場合、SLを磨いて日給九十八銭をもらうのだけれど、それは将来、機関士になるワン・ステップでもあった。

つまり庫内手は終身職でなく階梯職であった。缶磨きを終え、へソまで染み込んだ油あかを洗い風呂で洗い流し家路につく。そして機関助手試験に備え勉強、お伴は交友社の「略図の機関車」これが唯一の先生だった。

その年の十月、区内選抜で講習生となり、東海道線K駅近くの禅寺で十日間ほど講義を受けた。他機関区から三十名ほど集まった。

禅寺での作務、夕飯が済むと本堂の一室で夜の学科がある。それにはついていけたが、困ったのは精神修養として般若心経を暗記しないと講習を終了させないときだ。そうだとすれば機関助手科の受験に影響すると思ひ、SLの構造なんかそっちのけで般若心経の暗記に励んだ。

日蓮上人は、あの膨大な法華経を全文暗記していたとか。昭和の缶磨きにとつては二百七十余文字の経文さえ暗記そのものが容易でなかった。やたら「無の字」ばかり出てきて意味が分からず、それでも落第した者はなく終了した。

今でも思い出すが、老師が廊下の大太鼓を叩く。初めはゆっくり腹にこたえるように叩く。次第に早くなり一度、猛烈なアレグロになって初めと同じになり終わる。朝、太陽が出て夕方沈むまでをかたどつたと老師は賜うた。

過ぎて六十五年、すでに「SL人生」を終えたが、いまだにSLの夢をみる、夢の中の私は若く深夜になるとSL機関士となる。それは誰にも解体できない私だけの国鉄がそこに生き続けている。「昔日去来」往時の禅寺の友、しのぶことしきりである。

## 「どじなバーバ」 果てしない詐欺にご注意

磐田支部 寺田俊孝

朝の片付けもひとまず済んでやれやれと座ったとき電話のベル。この時間は又何か商品の宣伝かなどと受話器をあげた。とたん、「大塚先生の奥様ですか」と男の声。私「いえ母親です」男「実は〇〇高等学校の教頭ですが」私「お世話になります」男「こちらこそ、実はですね大塚先生の今日の二時間目の授業の事です、生徒が居眠りしていたので、先生が注意して生徒を引っ張って起こしたところ、あとで生徒が気分が悪いと云つたので

すぐ学校側は病院へ連れて行ったところ、耳の鼓膜が傷ついているとのことで、生徒の父親が激怒しているのを謝ってほしい。」まだまだ話は続きそう。上品に丁寧に如何にも高校の教頭の話しぶりそのもの。

その時私の頭の中は息子が孫を叱っている時の剣幕が浮かび、もしや生徒さんをなぐつたのでは？と心臓のドキドキが解つた。けど：けれど：息子は〇〇高等学校からすでに転勤しているのではないかと、我に返つた。冷静になつた。私、「今日は息子がそこで授業をしません。」……電話は切れた。後で主人に話したら「四十過ぎの男に何で親が何とかせにゃいかんのだ」の一言。それもそう、もし本当でも。

年金生活者のわが家など詐欺の話などあるわけもないと思ひ込んでいました。後で考えれば、教頭といわれても名前も、また生徒の氏名、病院名も医師の名も何一つ聞いていなかった。息子のところに電話したら大笑いでした。

それに似たことが同僚にもあったとのこと。人に話すと、その先電話口で役者が変わって金額や振込先を云つたら聞いておけば良かったネ：等々様々ですが、その時はそんな余裕は全くなしでした。

以上の文章は「ふれあい」の四月号に、大塚夫人が「どじなバーバ」と題して投稿されたものです。これは、実際にあったことが具体的に書かれており、会員に注意を促したものと思ひます。

実は、私のところへも三月中旬、一通の葉書がまいりました。標題赤字で「消費税金未納最終通告書」とあり、初めての葉書なのに最終とはおかしなものであり、東京都豊島区の「民事総合管理

組合」名と電話番号も書いてありました。

内容は、「貴方の未納した民法指定消費料金について、契約会社ないしは運営会社から民事訴訟として訴訟の提出されました事をご通知します。」というもので、くどくどと法律用語を使つてありましたが、要は「小額訴訟は一日で判決が出ることもあり、放置すると欠席裁判で原告側の言い分どおりの判決がでて財産等の差し押さえが行われま

す。」と書いてあります。面白いことに「プライバシー保護のため、ご本人様からご連絡下さい」と云いながら、封書ではなく二色刷りの葉書であったり、或いは「万が一、身に覚えのない場合早急にご連絡下さい」。そして「裁判取り下げ最終期日、本書到着後三営業日以内」と結んであります。何とか電話を掛けさせようというのがミエミエです。勿論、私には身に覚えがありませんし、裁判所からの通知もありませんので、電話はせず無視することとしました。しかし、こういう輩を野放しにするのは社会秩序の上でいけないと思ひ磐田警察署には通告しておきました。組合からは二ヶ月以上を過ぎましたが何の音沙汰もありません。

ところが、四月二十二日付中日新聞に「架空の訴訟で振り込め詐欺。島田で百五十万円被害」八十一歳の男性。「布団代名目で七十六万円を詐取」清水区の六十五歳女性の二件、更に二十五日には福井の三十代の男性が、「百六十回にわたり何と一億四千万円。最大級の振り込め詐欺」と報道されていました。これは氷山の一角でしょう。他人事と思つていましたが、とうとう私の所にもやってきました。下手な鉄砲も数打ちや当たると思つてでしょうか。私はこう考えています。

①電話であればまず落ち着いて相手の言い分を聞き、一度切つて該当する身内に確かめる。

②葉書等で訴訟と云つてきたら、裁判所から通知がある筈ですから。無ければ「嘘」の可能性が高いのです。通知無くして欠席しても「欠席裁判」はありません。

③狙われるのは高齢者が多いようです。私もその中に入りました。

## 終戦直後の災害

飯田支部 清水清勝

私は昭和二十年九月、十五歳で飯田保線区天竜峡線路分区の臨時雇用員として雇用されました。同年の十月上旬台風による集中豪雨があり、飯田線は大災害を受けました。

豊橋と辰野を結ぶ飯田線は昭和十二年八月に私鉄四社による連絡ルートとして全線が開通した鉄道で、昭和十六年十二月に太平洋戦が勃発し、東海道本線と中央本線を結ぶ軍事上の重要性から、昭和十八年八月に国有化されました。湯谷温泉から天竜峡までの約七十八軒は、溪谷と急峻な中部山岳地帯の山間を走る鉄道であり、当時は防災工事が殆ど施工されていなかったため、災害に弱い鉄道でした。

大災害が発生したのは十月三日頃だと思ひます。被害を受けたのは台風が通過した平岡から天竜峡までの約二十軒の区間でした。土砂崩壊、路盤決壊流失、土石流の流入による線路埋没等々の被害を受けました。当時飯田保線区は甲府管理部に所属していました。線路の災害復旧は地元の保線区員のみでは人員不足なので、管

理部管内の保線区員が応援に来て、沿線の旅館に分散して宿泊しました。

第一に困つたのが終戦直後だったので食糧でした。旅館の食事だけでは空腹を感じて満足な作業ができないので食糧を確保することでした。私を含め臨雇三名は保線区員二名の指揮下に入り、食糧の運搬をする仕事に従事することになりました。二名の区員は分散して沿線の農家を調達して歩き、調達できると私達三名が区員に引率されりヤカーを引いて農家に行き、調達した食糧を天竜峡の災害本部までの運搬をしました。本部には十数名の人達が焚きだしと食糧の配分等をしており多忙のようでした。私達は毎日区員に引率され確保した食糧の運搬の繰返しでした。

特に苦労したのが米の調達でした。米は配給制度でしたから、売つてくれる米などありません。当地方は十月が脱穀のシーズンであり、当時は人力による脱穀作業でしたので、私達三名が農家の人達の脱穀作業の手伝いをし、共同で作業をして労力の代償として米を戴きました。又、養蚕の盛んな地方でしたので桑園の耕作の手伝い、堆肥にする雑草の草刈等の手伝いをし、米を戴いた事もありました。私達三名は農家でしたので楽しく手伝う事ができました。

この様にして約二ヶ月間の食糧運搬を続け、十二月上旬に二ヶ月振りに全線が開通しました。今考えて見ると上司二名の方は、あの手、この手を使い、食料調達に苦労したと思います。終戦直後の災害で食糧のない時代でしたので、食糧調達をした事が深く印象に残っています。私は翌年の一月に線路工事として採用されました。

短歌

健やかにとにもかくにも恙がなく

米寿迎えし妻と語らう

雪原をSLがゆく煙り上げ

汽笛なつかし想いはめぐる

滋賀県支部

谷川虎太郎

今の世は親子の絆崩れさり

醜きことの多きを悲しむ

朝毎に鴨の番か陸まじく

千両の実を食む狭き庭

四日市支部

小川 勇

戦なき国を誇りに六十年

大事にだいに守りゆきたし

平和なる国で暮らせる有難さ

この幸せを世界の人に

津支部

岡 俊雄

旅の宿何にはともあれ露天風呂

手足伸して極楽極楽

撮るたびにもう撮るまいと思うけど

見るは見るなり破りはせずに

名古屋機関区支部

服部幸夫

朝食後の九種の菓乙女座の

星の如きを食卓に置く

病院でトレッドミルの検査受く

疲れもせずに胸も痛まず

沼津支部

山田寿男

半生の哀歎深き鉄道なり

音聞こゆ地に家を建てなむ

梨林橋貨車積みの声張りありし

貨物列車の消へし単線

上伊那支部

竹内滋一

俳句

五十鈴川浄めの水も濁れきびし

異教徒も神にぬかづくお元日

合掌のままに押されて初詣

津支部

濱口義徳

野分過雲ひとつなくコンバイン

元気な童遊ぶブランコ秋の暮

子育てに厳しき声紅葉狩り

四日市支部

小川 勇

立春の光のごとく鷺立てり

片方は波の彼方か桜貝

航跡の光うず巻く涅槃西風

浜松東支部

大倉照二

なくて良しあれば尚良し春炬燵

遠くなる昭和を語る雛の前

晩学や机に向かう霜の夜

沼津支部

山田寿男

けいとう花倒れて悲し強き風

嬉々として遊ぶ子たちに秋の蝶

萩こぼるゆるやかな道杖いらぬ

春日井支部

秋田漾子

川柳

息災を祈りお神酒を酌む笑顔

初空の平和ゆるがぬ孫の風

大府支部

藤井芳雄

マスメディア傾く舟に穴を開け

肩書きに未練残して名刺捨て

岐阜工事局支部

弓桁英二

高齢化やり玉にする税負担

習慣病なだめて生き甲斐まだ求め

富士宮支部

渡辺定善

初春の気を浴びて年寿を積み上げる

七十路もまだ夢を追う趣味の道

笠寺支部

稲塚正一

寝返りの多さは妻の苦労性

衣更やっぱり好きな色となり

美濃太田支部

三島次朗

# 駅探訪

## 御殿場線 裾野駅

●開業/明治22年2月1日  
●所在地/静岡県裾野市平松

車窓から富士の眺望を満喫できる御殿場線の旅。いつ見ても惚れ惚れするその眺望が右手から後方に遠ざかると、ほどなくして特急「あさぎり」は裾野駅に停車した。



開業は1889年(明治22年)。当時は周辺の地名から佐野駅と名づけられた。ちなみに佐野とは山間の狭い野原の意。その後、南海線(大阪府)、両毛線(栃木県)に同名駅があることから、1915年(大正4年)に現在の駅名に改称した。この裾野という名称の由来にも、単に富士山の裾野という説、東に位置する箱根山、西の愛鷹山の山間にあるからなど諸説あるから面白い。なにしろこれだけの眺望だ。富士の名にあやかりたくなるのが人情だろう。

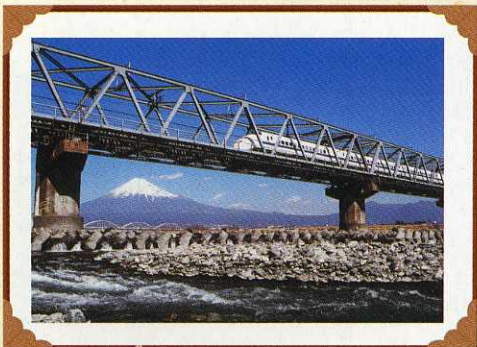
周辺には、この雄大な自然を活かしたレジャー施設が各所に点在している。温暖な気候も幸いして、登山客だけでなく年間を通じて多くの観光客がこの地を訪れている。

富士山について詳しく知りたい方におすすめるのが裾野市立富士山資料館。富士山の成り立ちや気象、山麓に生息する動植物などの他、富士山をテーマにした文学・芸術作品などの資料が充実。「富士を見る」「富士に棲む」「富士に生きる」など6部門に分け、映像などを駆使して分かりやすく紹介している。また併設の郷土館には富士の裾野に暮らす人々が使った江戸時代から現代までの民具や伝統技術を紹介しており、人々の暮らしがうかがえる。

「一富士二鷹三茄子」は初夢に見ると縁起がよいとされるものの順序。年賀状の準備も慌しい年の瀬。来年の年賀状には、ひと際とっしりとした末広がりの富士山を描きたくなった。

JR東海トピックス及び駅探訪は、JR東海の社内誌「おれんじ」10月～12月号から抜粋し再構成したものです。

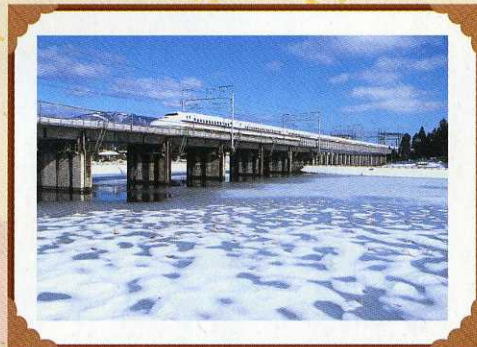
# 東海鉄道OB会 写真館



新幹線300系 富士川橋梁  
藤枝支部 長野良一



伊吹山とウメ 米原市伊吹  
関ヶ原支部 柏昌孝



十九女池を渡る  
700系新幹線 関ヶ原町  
関ヶ原支部 柏昌孝

## 編集後記

会報第八号(正月号)の編集と今後のお願い  
東海旅客鉄道株式会社代表取締役社長松本正之様から会員一同に新年のお祝辞を賜り御礼申し上げます。JR東海の関連グループで東海鉄道OB会の法人会員である各社の代表責任者各位様からも新年のお祝辞も賜り有難うございました。また、これからも昨年以上にJR東海及び関連グループから引き続き参考となるニュース等のご提供をお願いし、東海鉄道OB会報の充実を図りたいと存じますので宜しくお願い申し上げます。

一 正月に相応しい会報表紙の写真を選定し、掲載いたしました。  
二 今回は、各位の正月のあいさつを掲載したもので二十頁編集の会報としました。  
三 地方本部及び支部からの情報等が多く、「読者のひろば」の頁を割愛して「支部だより」を増やしましたので、「読者のひろば」で投稿頂いた一部の方には逐次掲載でご容赦をお願いします。

四 最近JR東海を退職し、OB会に入会された方々のフレッシュな投稿がありません。古参のOBのためにも遠慮のないご意見を伺いたく是非お待ちしております。  
五 今までご応募頂いた写真の中から、早春に相応しいものを選び最終頁にご紹介いたしました。これから随時このような企画をと考えています。

また、絵手紙も好評で、多くの方の投稿をお待ちしています。  
六 短歌、俳句、川柳を多くの方々から幅広い応募をお待ちしております。巧拙に関係なく新しい方々の投稿を楽しみにしております。  
七 「会報への投稿、文芸欄への投稿」要領は、第七号(十月号)掲載と同じで今回は掲載を省略しました。

(杉浦)

発行 〒四五〇一〇〇二二  
名古屋市中村区名駅 三丁目十三番十一  
キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部  
発行人 杉浦 定行  
電話〇五二一五六一六〇八〇(FAX兼用)